

会報 平成おやじの会

No.167

■参加者の声 吹奏楽部の母:真鍋さん

おやじの皆様、お手伝いのお母さん方、今日はお疲れ様でした。一時は「鍋がない!? 油がない!?!」とどうなる事かとハラハラしましたが、時間通りに「豚汁と海鮮焼きそば&目玉焼き」という超豪華メニューを仕上げ、颯爽と盛り付けや、青海苔サービスにテーブルを回る姿には「さすが!!」と思いました。参加させて頂いた娘も、「こんなに豪華だとは思わなかった、楽しかった!」と非常に喜んでおりました。そして私が何より嬉しかったのは、吹奏楽部の皆さんと川原先生からのお返しの「オペラディ・オペラ」の演奏を聴けた事です。12月よりかなり進化した演奏に、今後が楽しみになりました。このような機会を作って頂き、本当にありがとうございます。オヤジの皆さん、これからも多方面で頑張ってください!! 川原先生、吹奏楽部の皆さん、また素敵な演奏を聞かせて下さいね。

(追伸:今回は夫が仕事で参加できず残念がっていましたが、思いがけず「鍋」だけ参加でき笑えました。お持ち帰りに頂いた豚汁は、夜ご飯に美味しく頂きました。鍋はいつでも貸し出しできますので、必要があれば言って下さいね♪)

吹奏楽部と豚汁交流

新年最初の行事は吹奏楽部との交流でした。1月19日(土)の昼、会場の琴似中の一室には、豚汁をはじめ、焼きそば、目玉焼きがずらりと並びました。ママさんたちが腕によりをかけて調理しました。オヤジたちは、日々練習に励む生徒とともに、昼食をいただきました。この後、生徒がお札にビートルズナンバー「オペラディ・オペラ」を披露し、会場を沸かせました。



ママさんに感謝です



豚汁交流&吹奏楽演奏



■編集後記：おやじとお母さんの愛情たっぷりの豚汁の温かさが、吹奏楽部に届いたのは笑顔で確認。今年に入ってから
の真冬日もその暖かさと緩んできたようです。(美)